

研究課題

血漿由来cfDNAを用いたがん包括的ゲノムプロファイリング（Liquid-CGP）の臨床的有用性と課題に関する後方視的解析

当院で血液を用いたがん遺伝子検査に関する研究にご協力いただいた患者さんへ

当院では以下のとおり、診療情報を用いた研究を実施しています。本研究は、通常の診療で得られた情報を用いて行われるものであり、新たな検査や治療を行うものではありません。研究の目的をご理解いただいた上で、本研究へのデータ利用を希望されない方は、下記の連絡先までお申し出ください。

研究課題名：

血漿由来cfDNAを用いたがん包括的ゲノムプロファイリング（Liquid-CGP）の臨床的有用性と運用上の課題に関する後方視的解析

研究の背景と目的：

がんの治療は近年、臓器ごとの分類から、遺伝子の異常に基づく精密医療（プレシジョン・オンコロジー）へと進化しています。特に「リキッドバイオプシー」と呼ばれる、血液からがんの遺伝子情報を解析する方法（Liquid-CGP）は、侵襲が少なく、迅速に情報が得られるという利点から注目されています。

本研究では、当院において血液を用いたがん遺伝子検査（Liquid-CGP）を受けられた患者さんの診療データを後方視的に解析し、

- actionable（治療標的となりうる）遺伝子異常の検出率
- 治療選択や方針への影響
- 検査の実施状況や限界点

について検討します。これにより、Liquid-CGPの臨床における有用性や課題を明らかにし、今後のがん診療の質向上に役立てることを目的としています。

研究対象：

2019年9月から2025年3月までの間に、当院で血液を用いた包括的ゲノムプロファイリング検査（Liquid-CGP）を受けられたがん患者さん

使用する情報：

診療録（カルテ）や検査結果、治療内容などの記録のうち、本研究の目的に必要な範囲の情報を使用します。氏名や住所などの個人が特定される情報は一切含まず、匿名化された形で取り扱います。

利益相反および外部提供：

本研究は特定の企業との金銭的な利益関係はありません。また、データは適切な管理のもと、外部機関への提供は行いません。

研究期間：

倫理審査承認日 ～ 2026年3月31日（予定）

個人情報の保護について：

研究に使用する情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。情報管理には万全を期しています。

データ利用を希望されない場合（オプトアウト）：

本研究へのご自身の診療情報の利用を希望されない方は、下記の連絡先までご連絡ください。お申し出がない場合には、同意をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

問い合わせ・連絡先：

大阪南医療センター 腫瘍内科

研究責任者：工藤慧太 医師

TEL：0721-53-5761（代表）

受付時間：平日9:00～17:00